

私立大学図書館協会 2024 年度第 1 回東西合同役員会議事要録

日 時：2024 年 8 月 23 日（金） 14 時 00 分～15 時 30 分

開催方法：Web 会議

出席者：名簿のとおり

議事に先立ち、Web 会議システム（Zoom）の接続確認を兼ねて出席確認を行った。議事進行は、会長校明治学院大学の助川哲也館長が担当した。

[報告事項]

1. 協会会務報告（2024 年 4 月～7 月）

会長校（明治学院大学・鈴木）より、配付資料のとおり報告が行われた。「2023 年度加盟校数」は 2023 年度総会で承認された数である。「2024 年度加盟予定校、脱退届出校」これらを反映した「2024 年度加盟校予定数」は、本会議で協議の上、2024 年度総会で承認予定である。

2. 東地区部会会務報告（2024 年 4 月～7 月）

東地区部会長校（帝京大学・饗場）より、配付資料のとおり報告が行われた。東地区部会総会は 6 月 7 日～13 日 Web フォームによる議決で行った。また 6 月 7 日に館長会を Web 会議、研究講演会をオンライン開催、オンデマンド配信で実施した。研究部報告について、研究部担当理事校（専修大学・飯泉）より、配付資料のとおり報告が行われた。研修事業は NPO 法人大学図書館支援機構、富士通 Japan 株式会社を実施業務を委託している。

3. 西地区部会会務報告（2024 年 4 月～7 月）

西地区部会長校（中部大学・高木）より、配付資料のとおり報告が行われた。西地区部会総会は 6 月 14 日～19 日 Web フォームによる議決で行った。また 6 月 21 日に研究会をオンライン開催、オンデマンド配信で実施した。各地区協議会（東海、京都、阪神、中国四国、九州）でそれぞれ活動をしていることが報告された。

4. 委員会報告（2024 年 4 月～7 月）

（1）協会賞審査委員会

協会賞審査委員長（関西学院大学・有川）より、配付資料のとおり報告が行われた。2023 年度協会賞の授賞、2024 年度の募集について確認された旨報告された。

（2）研究助成委員会

研究助成委員長（関西学院大学・井上）より、配付資料のとおり報告が行われた。2025 年度研究助成（2024 年度申請）募集の内容、日程等について検討され、決定した旨報告された。

（3）国際図書館協力委員会

国際図書館協力委員長（法政大学・須賀）より、配付資料のとおり報告が行われ

た。実施事業について、寄贈資料搬送事業、海外認定研修、国際図書館協力セミナーを予定している。

5. 協会関連事項報告（2024年4月～7月）

（1）国公立大学図書館協力委員会

会長校（明治学院大学・鈴木）より、配付資料のとおり報告が行われた。7月24日に開催された第96回国公立大学図書館協力委員会において、次期委員長館の選出が行われ、筑波大学に決定した。任期は2024年8月1日から2025年7月31日の1年間である。

（2）日本図書館協会

会長校（明治学院大学・鈴木）より、配付資料のとおり報告が行われた。

（3）後援・共催

会長校（明治学院大学・鈴木）より、配付資料のとおり報告が行われた。

6. 2024年度協会役員校、委員会および協会関連団体等委員

会長校（明治学院大学・鈴木）より、配付資料のとおり報告が行われた。

7. 2024年度行事・会議予定

会長校（明治学院大学・鈴木）より、配付資料のとおり報告が行われた。

2024年度予算案の一部修正の承認のため、第2回常任幹事会をメール会議で開催、当初第2回として予定していた、12月6日（金）開催分を第3回とした旨、説明があった。

8. 第85回（2024年度）総会・研究大会の参加方法について

会長校（明治学院大学・鈴木）より、総会の参加方法について説明があった。総会は8月27日（火）～9月3日（火）の期間、Webフォームによる議決により実施する。研究大会は9月4日（水）当番校駒澤大学からのライブ配信によるオンライン開催となる。2023年度海外認定研修、研究助成の報告は加盟校限定ページに報告資料が掲載される旨説明があった。

9. 承合事項について（大谷大学図書館）

会長校（明治学院大学・鈴木）より報告が行われた。大谷大学図書館からの提案について、7月22日（月）～8月2日（金）の期間で、加盟校に承合事項の回答を依頼、289校（加盟校の約56%）から回答があった。報告書は総会議決開始となる8月27日より、協会ホームページの加盟校限定ページで公表する旨説明があった。

[協議事項]

1. 2023年度事業報告（案）について

会長校（明治学院大学・鈴木）より、配付資料にもとづき説明がされた。

協議の結果、提案のとおり承認された。

2. 2023年度一般会計・特別会計決算報告（案）について

会長校（明治学院大学・鈴木）より、配付資料にもとづき説明ならびに提案が行われた。協会の会計が「一般会計」、「特別会計」、「総会・研究大会特別会計」の大きく3つに分かれていること、各会計の概要について説明があった。決算報告について、監事校成蹊大学、西南学院大学にて監査を行い、監査報告書のとおり決算内容は適正であるとの報告が行われた。

協議の結果、提案のとおり承認された。

3. 2024年度事業計画（案）について

会長校（明治学院大学・鈴木）より、配付資料にもとづき説明ならびに提案が行われた。

協議の結果、提案のとおり承認された。

4. 2024年度一般会計・特別会計予算（案）について

会長校（明治学院大学・鈴木）より配付資料にもとづき、説明および以下の提案がなされた。

1) 一般会計 <事業費>

・9. 災害支援等予備費

「私立大学図書館協会基金管理運用規程」が制定され、2023年度より一般会計から基金会計への繰り入れを開始している。これにより重大災害への対応の基本的な担保ができたこと、突発的な問題で単年度執行の必要が発生した場合は、予備費より流用して執行することで問題ないと考え、この項目は0円計上とした。

・10. 研究助成支援費（新規）

研究助成金60万円は、協賛企業3社（各20万円）からの支援金を財源としていた。研究助成特別予算はこの基金に依存しており、該当3社に依頼することも慣例となっておりと思われる。今後継続して支援を受けられるという保証は未知数であり、安定的に助成金を維持するため、研究助成1件の助成額上限金額である60万円を一般会計にて「研究助成支援費」として計上、研究助成特別会計へ繰り入れる形としたい。

上記の他、総会・研究大会特別会計の「講師派遣費」にて計上されていた研究大会講師への謝礼について、一般会計の「事業費」の「講師派遣費」にて支払う方向とし、予算額を修正した旨説明があった。

協議の結果、提案のとおり承認された。

5. 2024年度新規加盟校および脱退校（案）について

会長校（明治学院大学・鈴木）より、配付資料にもとづき説明がされた。2023年度中に申請のあった新規加盟校、および脱退校について、2024年度総会の承認により正式に決定となる。2024年度新規加盟校は西地区1校、脱退校は東地区1校、西地区2校、計3校となる。これにより2024年度加盟校数は東地区268校、西地区246校、計

514校となる旨説明があった。

協議の結果、提案のとおり承認された。

6. 2025～2026年度 協会役員校（案）

会長校（明治学院大学・鈴木）より、配付資料にもとづき説明がされた。総会では、この後の議事の「私立大学図書館協会会則の改正（案）」と順序を入れ替え、会則改正案を先に審議し、「2025～2026年度 協会役員校（案）」は、会則改正案の審議内容を受け、審議をする形とすることが説明された。

会則改正案では、現行会則で「東西各6校」と定められていた理事校数を、東西合わせた校数で記載、また西地区は、5つの協議会からの理事校のうち1校が議決権を要しないとしていたが、その概念もなくす形とする。改正後、東地区は役割の廃止統合により、理事校数3校となる。西地区は各協議会より5校となる。尚、会報担当理事校は西地区となり、京都先端科学大学が担当する。

7. 私立大学図書館協会会則の改正（案）

会長校（明治学院大学・鈴木）より、配付資料にもとづき説明がされた。

2023年度第1回東西合同役員会懇談事項にて、東地区部会の理事役割の統合による理事校数減と、それに伴う「私立大学図書館協会会則」第12条の改正について提案され、会則の改正を行う方向で合意した。会則第12条の改正案の検討をする中で、現行の会則について、協会役員の位置づけ、各会議体の位置づけ等が不明瞭な点があり、これらもあわせて整理し、改正案を作成した。

改正のポイントは以下のとおりである。

(1) 役員校について定める条項を作成、役員校の構成を明確にする

現行会則の各所に「役員」「役員校」と記載があるが、役員校について定めた条項がないため、改正案では第6条として（役員校）という条を追加し、役員校を構成するのは会長校、地区部会長校、監事校、理事校とした。またこれを前提に、各条項にて「理事校」と記載されている部分について、改正後第6条の「役員校」にあたるものは「役員校」へ修正を行った。

(2) 会長校、部会長校の役割を定める

現行会則の第11条「会長校」、第32条「地区部会長校」に、役割を記載した文言を加筆した。

(3) 条項の順序の再構成

「役員の構成」→「役員の役割」→「機関（各会議体）」という順序に条項を再構成、これにより、既存の条番号の繰り下げ、繰り上げ等を行った。

(4) 理事校数について

現行会則の第12条（改正後第11条）について、以下の点を反映させた。

- ・現行会則では、地区部会長校、監事校を含めた校数を「理事校数」としていたが、改正後第6条にて役員の構成を(1)会長校(2)地区部会長校(3)監事校(4)理事校と定めた上で、これに基づき、改正後第11条では理事校数を、地区部会長校、監事校を除いた校数とした。

- ・現行第12条では「東西各地区部会から選出される6校を理事校とする。」としているが、改正後第11条では、役員会の運営を維持するための規模を示すこととし、東西あわせた理事校数について、幅をもたせた形に修正した。
- ・現行第12条2項は理事校数が同数であることを前提に設けられた項目であるためこれを削除した。

会則についてはいくつか課題もまだ見受けられるが、今回は上記の趣旨に基づいた改正案とし、総会にて加盟校より意見が出たら、改めて検討するということとする旨、説明があった。

協議の結果、提案のとおり承認された。

8. 第86回（2025年度）総会・研究大会（案）について

会長校（明治学院大学・鈴木）より配付資料にもとづき、2025年度東西合同役員会、総会、研究大会の日程、および開催方法について説明があった。続いて次期当番校（京都女子大学・中山館長）より、テーマの趣旨等の補足説明があった。

協議の結果、提案のとおり承認された。

[懇談事項]

1. 2025-2026年度委員会委員および協会関連団体委員の選出について

会長校（明治学院大学・鈴木）より、配付資料にもとづき、現時点で決まっている範囲で示した資料となっている旨説明があった。京都外国語大学宮杉氏より、研究助成委員会の西地区からの選出対象のうち「西地区理事校」となっている項について、理事校に限らず選出をしているとの指摘があり、会長校より、記載方法を見直す旨回答があった。

2. 研究大会での海外研修、研究助成等の報告について

会長校（明治学院大学・鈴木）より、配付資料にもとづき説明があった。コロナ禍での対応により、2020年度からオンラインでの研究大会開催が行われており、対面実施の時に実施していた研究助成報告、海外研修の報告について、加盟校限定ページに資料または動画報告をアップする形となっているが、今後オンラインでの研究大会開催にあたり、改めて、これらの報告の在り方を確認したい。

3. 2023年度・2024年度活動報告書の提出について

会長校（明治学院大学・鈴木）より、配付資料にもとづき説明があった。公開するものではなく、次期への引継ぎ資料という趣旨でまとめていただけるよう依頼があった。

以上、すべての議事を終了し、議長が閉会を宣した。

2024年度 第1回東西合同役員会 出席者名簿
(2024年8月23日(金) 14:00～ Web会議)

	役員名	議決権	大学名	職名	氏名
1	会長校	○	明治学院大学	図書館長	助 川 哲 也
				図書館次長	鈴 木 直 子
2	東地区部会長校	○	帝京大学	図書館長	木 村 友 久
				課長	饗 場 稔 恵
				係長	川 北 友 美
				主任	三 谷 典 子
				課員	山 内 歩
3	西地区部会長校	○	中部大学	事務部次長	高 木 秀 明
4		○	専修大学	図書課長	飯 泉 慎 也
				図書課主任	野 村 彩 衣
5	東地区理事校	○	国立音楽大学	主任司書	森 岡 倫 子
				副参事	柄 田 明 美
6		○	立正大学	熊谷学術情報課課長	島 田 貴 司
7		○	北海学園大学	事務長	河 井 裕 司
8			椙山女学園大学	課長	川 井 幸 治
9		○	京都外国語大学	課長	東 南 隆 光
				管理運営課長	宮 杉 浩
10	西地区理事校	○	大阪大谷大学	図書係	中 山 義 宣
11		○	広島経済大学	課長	栗 原 ま す み
12		○	久留米大学	課長	中 島 陽 之
				課長	野 田 俊 介
				課長補佐	鬼 塚 卓 也
				課長補佐	山 下 敦 子
13	東地区監事校	○	成蹊大学	図書館事務室部長兼事務長	寺 西 浩
14	西地区監事校	○	西南学院大学	館長	黒 木 重 雄
				学術支援部長	平 山 崇
				図書情報課長	高 野 晋 治
15	協会賞審査委員会		関西学院大学	情報管理課課長	有 川 浩
16	研究助成委員会		関西学院大学	運営課課長	井 上 昌 彦
17	国際図書館協力委員会		法政大学	多摩事務課長	須 賀 真 弓
				市ヶ谷事務課	有 川 博 隆
18	総会・研究大会当番校		駒澤大学	運営課 課長	長谷川 裕美子
				情報サービス課 課長	飯 島 靖 彦
				運営課運営係 係長	小 田 智 裕
19	次年度総会・研究大会当番校		京都女子大学	図書館長	中 山 玲 子
				学術研究支援部長 (図書課長兼務)	酒 井 桃 子
				図書課 図書係長	堀 恵 介
20	総会議長		大正大学	図書館情報メディア部 図書館情報メディア課長	古 川 真 理
21	次期会長校		関西学院大学	事務部長	尾 木 紹 学
				専任主管	服 部 耕 一 郎
22	次期東地区部会長校		中央大学	図書館事務部長	大 谷 文 男
				図書館事務部副部長	高 杉 幸 史
				図書館事務部副部長	工 藤 邦 弘
				図書館事務部総務課長	佐 藤 健 士
23	次期西地区部会長校		福岡大学	図書館事務部長	小 柳 利 行
				学術情報課長補佐	柳 田 千 寿